

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人くすの樹会

令和4年度 事業報告書

法人本部

令和4年度 事業報告
法人本部

理 念

私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。

基本方針

私たちは、私たちが営む施設が社会資源のひとつとして地域に開かれ、地域に暮らす人に愛され、自ら育ち、また育てられることを目指します。

実施事業

保育所の経営

幼保連携型認定こども園の経営

一時預かり事業の経営

事業期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

● 法人組織・経営・施設運営について

幼保連携型認定こども園への移行について

当法人においては、平成25年11月の役員会にて、法人内の認可保育所については、移行可能な施設については全て幼保連携型認定こども園に順次移行するという正式な意思決定がなされている。これは資金的な目的ではなく、施設の社会資源としての公的な役割を拡大するためである。

現在のあじさい保育園園舎を設計した稲永設計に申請に必要な2階と3階の保育室の入れ替え工事について概算見積もりについて依頼し、令和4年度末に、受領した。既存の設備等を再利用して同様の規格で入れ替える場合、概算額が6,644万円とのこと。ただし、外階段の拡張について見積もりに算入されていなかったこと、改装に伴って、現場職員に意見徴収したところ、空調等設備について変更の要望があったため、再度見積もりを依頼したところである。

● 職員の処遇、職務、人材育成について

① 考課と処遇の連動について

人事考課について、これまでは、法人本部事務局が人事考課表、評価基準等の作成をしていたが、令和3年度10月から全職員参加型によるチーム研修が始まり、職員の評価や育成についてのチームが発足している。これを踏まえ、法人本部事務局のみで進めていた評価制度策定を、前年度策定済みの分を現行の評価では使用しつ

つ、改定等の更新については作業を中断した。

これまで大きな課題であった評価のばらつきについては、評価基準書を作成し、説明を行ったことで、一評価者によるばらつきが少なくなってきたように思われる。しかし、施設間、評価者間でのばらつきについては依然存在している。原因として、業務の達成度について、環境要因と個人を分けて、個人の能力を評価するという部分に不十分さが挙げられる。令和4年度においては、各施設での考課後、ばらつきが大きくみられる場合は、法人本部から施設管理者や必要であれば職員に聞き取りを行い、最終調整を行った。

評価者に対する教育は、顧問社労士の助言を受けながら検討中であるが、研修の実施には至らなかった。令和4年度第4四半期から段階的に本部の施設巡回を再開しているため、現場職員や管理職との対話を通して考課担当者に、評価する時の基本的な考え方、職員に求める姿の基本となる部分など、意見を交換しながら統一を図っているが、その時には理解しているようでも、実際の作業時にそれが応用されていたかが不明瞭であった。評価時に自分の主観や感情を切り分けることが難しい様子で、個人の感覚の「わかった」「わからない」に頼るのではなく、何らかの形で数値化されたマニュアルの様なものの必要性が浮き彫りになっている。

② 役職登用等について

令和3年度から、副主任トライアル任用を運用しているが、そのうちの1名が令和3年度中に、もう1名については令和4年度当初から正式に副主任保育士として任命された。

当初、トライアルという名前がついていることで、自分たちの立場があいまいでどうしていいのかわからない、と意見があったため、その仕事を担ってみて、実際に責任を全うできるかを見定める期間であり、正式に業務を担えると判断された場合には正式に任命される旨説明を行った。

令和4年度は、役職ごとに業務内容についてそれぞれが判断の基礎とできるような、ある程度具体的に、実務と権限、責任の範囲の策定を行う予定であったが、現職の主任、副主任の担っている業務範囲がチームとしての現場の力や風土、役職者の個人の性格や得意分野によってばらつきが大きいため、均一化は難しいと判断した。細かい職務分掌を定めると原点方式に評価が陥ってしまうため、大まかに求める人物像から定める方向に転換することとして協議を進めた。そのため、令和4年度は、書面等での成果物の作成には至っていない。

③ 人材育成計画について

令和5年度から処遇改善Ⅱに関するキャリアアップ研修受講要件の緩和が段階的に縮小されることを受けて、現場管理者を中心として、中堅職員を中心に研修の受講を進めた。ただし、その職員の課題に応じた研修に応募しても受講ができず、一方で必ず何かの研修を終了しておくことが必要となることから、直接、現在の業務

上の課題や必要性に関係のない研修を受講することになった職員が発生した。

法人全体の方針として、キャリアアップ研修については、園としてその職員に担ってほしい、学んでほしい分野については業務命令で業務としての受講をさせている。それ以外については、処遇改善Ⅱ配布のために本人の意思に背いた強制的な受講をさせることは行わない事としている。一方で、職員には自分の資格となることを説明し、園からのアサインがなくとも、個人の意思で主体的に学びを進められるよう、応募できる研修機会について全員に周知しており、園からのみ申し込める口座については希望者を募って主催者に申し込みを行った。また、外部事業者と契約し、オンデマンド研修プログラムを提供するなど、学びたいと思う職員が学べる環境の整備を行った。

令和4年度10月期から、全職員を参加対象とした組織再構築のための5か年計画がスタートした。これについては、法人を横断してテーマごとのチームに分け、その後の会議の設定や、展開、活動推進はチームごとに職員自身が主導し、必要であれば研修受講を依頼することができるシステムとなっている。チームごとのテーマについては下記の10項目。

- A 基本理念の再構築
- B 基本方針・目標の再構築
- C 組織風土の再構築
- D 採用システム構築
- E 新任職員育成計画
- F 若手職員能力開発
- G キャリアプラン策定と運用
- H マネジメント開発
- I 園内研修体制構築
- J オープンな職場環境の実現

この計画については、職員に主体性を求めるものであり、その主導権そのものを職員自身にゆだねることとなっており、進捗については極力施設長及び事務局等から管理を行わない形で進めている。本部としては、最初の2年間は成果物作成等に焦らず、それよりもっと前の段階である、それぞれが活発に議論できる土壌づくり、会議を主体的に開催できるようになることに着目して観察を行っている。

④ 3%処遇改善（処遇改善Ⅲ）

令和3年度2月から、賃金を3%程度引き上げるための助成金が支給されたものについて、令和3年度については一時金として支給したが、令和4年度からは月

額賃金に手当を新設して支給している。財源としては、10月以降、補助金ではなく公定価格に組み入れられて名称も処遇改善Ⅲとなったため、法人内の給与規定もこれに相当する手当を3%処遇改善手当から処遇改善手当Ⅲと改めて支給を行った。

処遇改善手当Ⅲに加え、ローテーションで大きな負荷がかかるフルタイムシフトの正規職員を中心に、正規職員を対象としてローテーションに対する新たな手当を新設し、賃金改善と職員間の不公平感の緩和を試みた。これについては12月の理事会で承認された通り、年度の更新を待たずに1月からの支給とした。令和5年度4月からこの手当があるために、働き方を変更する職員があり、一定の効果があつたとみられる。

⑤ 多様な働き方について

働き方改革で進んだ短時間制職制度の運用については、令和3年度までは利用者も権利の行使する形で、周りがどうなろうと利用していた部分もあるが、令和4年度に入り、その余波を受けて負担が増加した他の職員への配慮が進み、働く時間を定型の6時間より長くしたり、時間は固定であるが8時間の勤務をしたりする者が前年度より増加した。法人として、短時間制職制度の定時については、本人の希望があれば、労働時間の延長と時間の変更は柔軟に対応するよう指導した。ただし、フルタイムローテーションをこなす職員から、子育てが大変なことを理解しつつも、時短勤務者の「当然の権利」然とした態度に疑問を抱いている職員が多く、複数の同意見が見られた。これについては、時短利用職員が就業時間のみならず、「子育てが大変」ということを理由に一部が業務そのものの負担軽減を求めたため、それ以外の職員がその負担を担う形で皺が寄っている為でもあるが、聴き取りを行ったところ「感謝の言葉がない」ことが最大の不満点であり、時短制度利用者を含む全職員に対して、この制度が他者の協力で維持されていることをきちんと教育できていないという課題が残った。

● 人材確保について

人材有料紹介に頼らなくて済む環境を構築することが最大の目標であったが、特に保育士有資格者については、飯塚地区においても、人材紹介の台頭が目覚ましくハローワークからの求職者はほぼない状態が続いている。

令和4年度はあじさい保育園で調理職員の入職退職が多く、令和5年度開始時には、何とか人数を確保し、給食が止まることは回避されたが、職員が大きく入れ替わるような現状となった。

横浜地区については、令和3年度末の退職者数が前年度比で減少したが、特に銀杏保育園本園においては、令和4年末時点で、フルタイムですべてのシフトで働ける正規職員の数が減少し、常勤職員の確保に非常に苦戦している。

● 情報の発信と IT ツールの利用

① 情報発信のツールに関して

インスタグラムは引き続き運用しており、そのフォロワーの多くは保護者であるが、入職した職員に聞き取りを行ったところ、入社以前に園の雰囲気などをチェックするのに見たとのことで、雇用促進にも一定の効果があったといえる。

ホームページについて、ホームページ自体の完全更新については、作業量が大きく実行できなかったため、見合わせた形となった。内容の更新については、インスタグラムのバナーの埋め込みをおこない、より活発に発信できているツールへの誘導が可能なように変更を行った。

② ICT 使用の促進

2017 年度に全園に一斉に導入した ICT システムについて、導入から 6 年度が経過した。保育記録については、移行が完了している。コロナ渦を経て進んだ ICT 利用ではあるが、これまで紙で配布していたお便りなどもメールでの一斉送信を活用するなど、現場から業務効率化やコスト削減につながる利用が進んでいる。特に 20 代、30 代の職員を中心にこの流れが進んでおり、年配の職員は、若い人に任せる、教えるを乞うという形で、職員内の異なる世代間で協力をして進められていた。加えて、この流れは、職員の関係性を、これまでの年長者からのトップダウン型ではなく、お互いに教えあう事のあることから、職員の関係性を再構築が進んでいる部分も出ていた。

● 事業継続のための計画策定と教育

① BCP (Business Continuity Plan/事業継続計画) の策定

BCP における令和 4 年度の目標は、法人の理念や社会的責任性に基づいて法人の基本的な考え方をまとめることであったが、その前段階である、社会福祉法人として存在する我々の理念の浸透、保育施設が持つ社会に対する役割や責任などを考えることに重点を置いた。現場職員は、災害発生時の早期復旧より、災害が発生する前の準備に着目しがちであった。保育所が通所施設であることが原因であると思われるが、社会の復旧においては初動が重要であること、様々なインフラの復旧には保育所の役割が大きいことを念頭に、次年度以降も計画の策定に向けて、職員の意識の向上や知識習得を進めていく必要がある。

② BCP に基づく BCM (Business Continuity Management 事業継続マネジメント)

I. 資金および設備等ハード面における短期・中期・長期計画の実行

資金に関しては、災害が発生し、3 か月間事業が停止しても職員の給与が支給できるように積み立てを進めてきた。次年度で予定額に到達する予定である。

10 年以内に建替えの時期を迎える鯉田こども園については、近年大雨発生時に周辺の水位が上がってきていることから、建替え時に浸水対策を踏まえて整備計画

を行う方向で検討を開始した。また、今後人口の推移によっては現在の業態での事業継続が難しくなることも予想される事から、今後の建築物の計画には、社会福祉法人として、地域の様々なニーズに応えられるように先を見通して計画する方向性で構想を進めている。

II. 計画に基づいた現場での人材教育および訓練の実施等

各施設内では、普段の保育の中でのリスクマネジメント、防災計画の策定、コロナウイルス感染症予防を念頭に置いた日々の業務等を通して、小さいながらも継続的なOJTが日々の業務の一部として進んでいる。

これまで現場でのBCPのイメージは、特定の事態に陥った時専用の行動マニュアルの様な形式になりがちで、普段と大きく異なった行動様式を含みがちな部分があったが、実際の保育現場での事業継続においては、日々の積み重ねや気づきを基にした準備の積み重ねや訓練が非常に重要であることが日々の振り返りやOJTから見えてきている。そのため、例えば災害備蓄等について、職員が計画の見直しを行い、普段の災害に対する準備がBCPに繋がる提案や要望が上がるようになってきた。この良いサイクルを生かし、日々の業務から離れたところで策定した計画ではなく、日々の活動の延長線上にBCPが成り立つ形を目指して人材教育及び訓練を行っていく方針とした。

●公益的な取り組みについて

例年通り、ほっとルーム、福岡ライフレスキュー、飯塚地域公益活動連絡協議会への参画、他の福祉施設との連携等について年通り進めた。地域行事に関しては、行事自体が中止されているままであり参加できていないが、法人主催で進めていた事業についてはほぼ通常通り、通常通り進められない事業については、別の形で継続性を保てるように実施した。また、保育現場でも、行政、児童相談所等との連携強化を重視し、各機関と連絡、相談を密に行える関係づくりを行い、オンラインを使用した交流を実施した。

法人全体の取り組み重点項目（短期 単年度）

- ① 法人理念の職員への浸透
- ② 施設を中心とした保育・教育内容の見直しと充実
- ③ 人材確保（実習、インターン等の受け入れ含む）
- ④ リーダー研修と連動した考課者研修の実施
- ⑤ 情報発信（見える化）とICTの活用
- ⑥ 施設所在地域の公益的な取り組みのニーズ調査
- ⑦ 福祉教育実施先の開拓

法人全体の取り組み重点項目内容（中期 5年）

- ① 保育、教育内容の充実、質の向上
- ② 人材確保と育成
- ③ 次代の役職者の育成
- ④ 多様な働き方の実現に向けた制度の見直し
（職位、職務内容、賃金、育成計画の合理性の精査）
- ⑤ 他機関との連携強化による公益的取り組みへの対応力の多様化
- ⑥ 福祉教育の推進

法人全体の取り組み重点項目内容（長期 10年）

- ① 次世代の経営管理者の育成
- ② ニーズに合わせた法人の事業内容の策定
- ③ 安定した運営資金の確保と管理

法人本部事務局

本年度も前年度同様、2名の体制で業務を遂行した。業務の外部委託については、本年度2名の体制で通常の業務が進められており、業者選定等の具体的な動きには至っていない。ただし、今年度12月まではコロナ渦での生活様式、施設巡回業務が行えていなかったことから、次年度以降、令和4年度と同様の業務がこなせるかは疑問が残った。しかしながら、本部事務局の扱う会計、労務、法令対応、については法人運営の根幹にかかわり、施設運営にも影響が大きいことから、今の時点では施設事業の円滑な遂行が最優先される為、業務の見直しと再構築を行う余力がないのが現状である。本部の業務分掌の再構築に関しては今後の課題として、中・長期的な課題として取り組む。

法人本体の運営については、本部事務局が施設を含めたバックオフィス業務を担うことで、施設に依存した形となっている。また、各施設においても、事務業務の為の人員費は十分でない現状に変更はない。

人件費積立金 管理表

目標値 ※ 人件費支出の1/4 (3か月分)

| 区分 | 本部 | あじさい | 鯉田 | 銀杏 | 合計 |
|----------------------|-----------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 目標金額 (R4 決算額 ベース) | 2,692,720 | 26,035,370 | 21,818,265 | 35,166,832 | 85,713,187 |
| H28 | - 0% | 5,000,000 19.205% | 5,000,000 22.917% | 5,000,000 14.218% | 15,000,000 17.500% |
| H29 | - 0% | 10,000,000 38.409% | 5,000,000 22.917% | 7,000,000 19.905% | 22,000,000 25.667% |
| H30 | - 0% | 13,000,000 49.932% | 7,000,000 32.083% | 7,000,000 19.905% | 27,000,000 31.500% |
| H31/R1 | - 0% | 13,000,000 49.932% | 9,000,000 41.250% | 18,000,000 51.185% | 40,000,000 46.667% |
| R2 | - 0% | 16,000,000 61.455% | 17,000,000 77.916% | 24,000,000 68.246% | 57,000,000 66.501% |
| R3 | - 0% | 16,000,000 61.455% | 17,000,000 77.916% | 29,000,000 82.464% | 62,000,000 72.334% |
| R4 | - 0% | 22,000,000 84.500% | 22,000,000 100.833% | 34,500,000 98.104% | 78,500,000 91.585% |

施設・設備整備積立金 管理表

| 区分 (園舎竣工年) | 本部 | あじさい (H23竣工) | 鯉田 (H6竣工) | 銀杏 (H23竣工/H29竣工) | 合計 |
|----------------------|---------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|
| 目標金額 取得額 (鯉田のみ概算) | | 262,968,109 | 220,000,000 | 376,361,670 | 859,329,779 |
| H28 | - 0% | - 0.000% | 10,000,000 4.545% | 30,000,000 7.971% | 40,000,000 4.655% |
| H29 | - 0% | 10,000,000 3.803% | 10,000,000 4.545% | 40,000,000 10.628% | 60,000,000 6.982% |
| H30 | - 0% | 20,000,000 7.605% | 25,000,000 11.364% | 40,000,000 10.628% | 85,000,000 9.891% |
| H31/R1 | - 0% | 25,000,000 9.507% | 40,000,000 18.182% | 60,000,000 15.942% | 125,000,000 14.546% |
| R2 | - 0% | 45,000,000 17.112% | 55,000,000 25.000% | 80,000,000 21.256% | 180,000,000 20.947% |
| R3 | - 0% | 55,000,000 20.915% | 75,000,000 34.091% | 105,000,000 27.899% | 235,000,000 27.347% |
| R4 | - 0% | 81,500,000 30.992% | 85,000,000 38.636% | 120,000,000 31.884% | 286,500,000 33.340% |

令和4年度 あじさい保育園

- ・ 事業報告案
- ・ 年間行事執行表
- ・ 研修報告書
- ・ 延長保育利用状況年間実績表
- ・ 休日保育利用状況年間実績表
飯塚市内・市外
- ・ 年齢別入所児童数

令和4年度 あじさい保育園事業報告書

法人の理念「私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします」を基に全職員で「ひとりひとりを大切にしたい保育」を目標として取り組んできた。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応で、保護者や業者の方の入室は、玄関までと決めて対応してきた。園内の消毒や換気の徹底、子どもたちや職員にも引き続き、検温・手洗いやうがいを励行したが、新型コロナウイルスの感染が止まらず、年度末までに7回も部分休園や全体休園をせざるを得なかった。お盆を過ぎる頃より感染者が徐々に減り、10月より未満児クラスの保護者のみ、保育室への送迎を再開した。園内に保護者が入る事は3年ぶりとなり、初めての保護者もいて朝の準備や帰りの支度に戸惑う姿もあった。行事については感染を考慮しながら行う事とした。保育事業の一時預かり保育は感染対策から利用をやむなく控えたり、休日保育事業の7・8月の時期はコロナウイルスの関係で開園が厳しい状況で休園にした日もあった。世代間交流事業は高齢者の方に罹患する事もある為、今年度も交流を控えた。地域への交流は、コロナの為にまつりの開催がなく、参加が出来なかった。

1、 実施事業

- | | |
|----------|--|
| ① 事業年度期間 | 令和4年4月1日から、令和5年3月31日 |
| ② 入所児童数 | 令和4年4月1日から、令和5年3月31日 年間延べ人数 1866名 (別紙参照) |
| ③ 開所時間 | 午前7時から午後7時まで実施 |
| ④ 保育時間 | 午前9時から午後5時30分 |
| ⑤ 保育事業 | 一時預り事業(別紙参照) 延長保育 (別紙参照) 休日保育 (別紙参照) 世代間交流事業・交流地域 |

2、 職員体制

今年度は新卒採用3名、育児休業復帰3名、異動の職員もいる中で、年度当初152名の園児を受け入れた。年度途中で退職や体調不良での休業が続き、職員の年度途中の採用が全くできず、園児の受け入れができなかった。職員の突発の休みの時は全職員で対応し、さらに鯉田こども園や銀杏保育園からも保育士の応援で保育に入ってもらった。調理も年度途中で退職や体調不良での休みがあったが、年度途中での採用ができ、徐々に増え年度末には人数がそろった。

今年度はクラスチーフに若い職員をリーダーとして配置し、中堅職員が見守り助言で

きる体制をとっていったが、クラスによりスムーズにいくクラスとそうでないクラスが出来てしまいクラス編成の難しさを痛感した。職員が少ないことでお互いが力を合わせ頑張り乗り越えてきたことで、若い職員は力がついてきていると思える。その中で中堅職員に求められる保育力はさらに厳しくなっている。若い職員の見本となるように自己研鑽を積み上げ成果を上げて欲しい。人材育成の研修が始まり、職員同士、グループごとに研修を受ける姿を見て、年齢に関係なく議論をしながらお互いを高めたいと思う。

3. 保育内容

コロナウイルスの為に、保護者の入室を玄関までと制限している為、職員は日々の保育の様子を保護者に出来るだけ伝える努力をしていった。特に未満児クラスは日々のノートだけでは伝えきれないものもあり、送迎時に一生懸命に伝えている姿があった。

コロナウイルスの感染を考慮して以上児・未満児と分けて行った行事があった。

- ・以上児クラスの運動会は、当日は雨となり体育館で行った。未満児クラスの運動会は一度コロナウイルスで延期となったが、クラス毎ではあるが行う事が出来た。

- ・年長組のお泊まり保育は、コロナウイルスの影響で時期を少しずらし園内でのお泊まりを行った。時期はずれても子どもたちにとっては待ちに待ったお泊まり保育となり大喜びであった。親から離れての一晚は良い経験になったと思える。

- ・夏まつり（タベのつどい）は保護者会主催であるが、保護者会との協議で今年も子どもたちと職員のみで行った。当日は朝からお祭り気分で浴衣や甚平を着て、登園する姿もあり、一日夏祭りで大いに楽しむ事が出来た。

- ・年長組の平尾台登山は10月に入り、年長組が1クラスずつ山登りに挑戦した。クラス毎のカラーが出て、急な坂や長い道を自分の力で最後まで歩き、それぞれ時間もかかる事もあったが、全員最後まで頑張って歩き登頂でき、達成感を味わう事ができた。

- ・生活発表会は3年ぶりにクラス毎の発表会を開催した。一年の集大成として発表でき、子どもたちの緊張する姿もあったが、皆頑張った姿を見てもらう事が出来た。

外部講師による読み聞かせは無かったが、クラス内で日々読み聞かせを行い、保育力の向上となった。

体力の向上については「園庭に出る、散歩に行く」がクラスごとに差が出てしまい、異年齢児での少人数での散歩は難しかった。

食育については、コロナ禍の為、クッキング保育は中止としたが、卒園前に年長児クラスが味噌作りに挑戦した。栄養士の指導の下、よく話を聞きながら、混ぜたりこねたり、最後には力いっぱいかめに味噌を投げ込む姿を見ることができた。園舎の裏の畑では、以上児クラスは種からの栽培を行い、キャベツやスイカ等を育てた。未満児クラスはプランターで胡瓜や枝豆・カラーピーマン等を育て楽しんでた。また今年も保護者から畑を借用して2歳児と以上児クラスがさつま芋の苗植え、水やりを行い、生長をまじかに感じていた。収穫時には子どもたちの楽しんでいる姿が見られた。

4. その他

- ① 幼保連携型認定こども園への移行については、改めて申請を行う準備をしていく。
- ② 保護者会の活動は昨年に続き活動ができなかった。コロナウイルス収束後は以前のように活動を再開したいと思っている。
- ③ 職員採用については、一部だが大学訪問を行ったが大学によっては、保育関係の就職が少ないところもあり、厳しい状況だった。引き続き実習生の受け入れ、県や市主催の就活フェアには積極的に参加していく。

5. 中長期計画

・ 中期計画

- ・ あじさい育児マニュアルの改訂が最後までできあがったので、活用していく。
- ・ 業務改革の中で、アプリの使用で時間の短縮ができた。特に各月のお便り・準備してもらうものの連絡等で利用することが多く効果を上げていた。

・ 長期計画

- ・ 法人理念を職員に指導する教育機能の確立
- ・ 地域に保育園の機能等を周知する機会を多く持つ
- ・ 施設の管理を定期的に行う（水回りや太陽光発電の点検等）

令和4年度 各月年齢別入所児童数 あじさい保育園

()広域
全人数

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-----------|-----|
| 4月1日 | () 8 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 31 | () 30 | 152 |
| 5月1日 | () 8 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 31 | () 30 | 152 |
| 6月1日 | (1) 10 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 31 | () 30 | 154 |
| 7月1日 | (1) 11 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 31 | () 30 | 155 |
| 8月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 9月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 10月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 11月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 12月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 令和4年 1月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 2月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 30 | () 32 | 157 |
| 3月1日 | (1) 12 | (3) 24 | () 30 | (1) 29 | (2) 29 | () 30 | 154 |

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 合計 | | | | | | | |
| | 133 | 288 | 360 | 348 | 363 | 374 | 1866 |

あじさい保育園 令和4年度 年間行事執行表

| | | |
|-----|--------------|---------------------------|
| 4月 | 1日(金) | 入園式 |
| | 6日(水) | 懇談会(1歳児)中止 |
| | 13日(水) | 懇談会(0歳児)中止 |
| | 20日(水) | 懇談会(2歳児)中止 |
| | 22日(金) | 懇談会(5歳児)中止 |
| | 27日(水) | 懇談会(3・4歳児)中止 |
| 5月 | 25日(水) | 歯科検診(はやま歯科医院) |
| 6月 | 11日(土) | 以上児運動(二瀬中学校) |
| | 14日(火) | 梅ちぎり(ぶどうグループ) |
| | 15日(水) | 芋苗植え(縦割り) |
| 7月 | 2日(土) | つどいの広場誕生祭り参加(ぶどうグループ)中止 |
| | 9日(土)~10日(日) | お泊まり保育(あじさい保育園)ぶどうグループ 延期 |
| | 25日(月) | 巡回相談 →延期 |
| 8月 | 24日(水) | 巡回相談 |
| | 24日(水) | あじさいまつり(未満児) |
| | 25日(金) | あじさいまつり(以上児) |
| 9月 | 9日(金)~10日(土) | お泊まり保育(あじさい保育園)ぶどうグループ |
| 10月 | 6日(木) | 内科検診 |
| | 14日(金) | 平尾台山登り(エルマ組) |
| | 21日(金) | 平尾台山登り(スイミー組) |
| | 25日(土) | 歯科検診(はやま歯科医院) |
| | 27日(木) | ハロウィン |
| | 31日(月) | 平尾台山登り(カミイ組) |
| 11月 | 5日(土) | 未満児運動会(延期) |
| | 8日(火) | 芋ほり(たてわり) |
| | 10日(木) | 芋ほり(未満児) |
| | 15日(火) | 七五三参拝 |
| | 25日(金) | 歯科検診(はやま歯科医院) |
| | 29日(火) | 焼き芋パーティー |
| 12月 | 3日(土) | 未満児運動会 |
| | 14日(水) | もちつき |
| | 22日(木) | お楽しみ会 |
| 1月 | 6日(木) | 七草がゆ |
| | 28日(土) | 生活発表会 |
| 2月 | 3日(金) | 豆まき |
| 3月 | 23日(木) | お別れ会 |
| | 25日(土) | 卒園式 |

※令和4年度は、新型コロナウイルスの拡大拡散で、蔓延防止期間中や自治体の要請等を考慮しながら、新型コロナ感染症の拡大防止のため行事の縮小・変更・延期・中止をしていった。

*縦割りクラス・横割りクラスの課業は、感染対策をして職員が行った。

*未満児クラスの音楽リズム(どれみの時間)は、密にならないように少人数又は、各クラスで行った。

*スイミング(ばななグループ2回・ぶどうグループ6回)→バスの利用を避けることで中止

*幼年消防→消防署より中止の連絡あり

*絵本の貸し出し・・・ぶどうグループ

*ディサービスいずみ・いずみの森訪問は感染防止のため自粛

(令和4年度)

延長保育利用状況表

あじさい保育園

| 時 間 月 | 6:01~ 6:30 | 6:16~ 6:30 | 6:31~ 7:00 | 7:01~ |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| R4. 4 | 43 | 17 | 8 | 0 |
| 5 | 53 | 28 | 14 | 0 |
| 6 | 88 | 57 | 27 | 0 |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 40 | 21 | 10 | 0 |
| 9 | 56 | 32 | 20 | 0 |
| 10 | 60 | 49 | 18 | 1 |
| 11 | 55 | 42 | 17 | 0 |
| 12 | 53 | 35 | 15 | 0 |
| R5. 1 | 63 | 46 | 25 | 0 |
| 2 | 70 | 46 | 19 | 0 |
| 3 | 57 | 43 | 17 | 0 |
| 合計 | 638 | 416 | 190 | 1 |

(令和4年度)

(市内)

休日保育利用表況表

あじさい保育園

| 年.月 | 市内 | | | | | | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|----|-----|---|-----|
| | 1日 | | | 半日 | | | |
| | 園児 | 園児外 | 計 | 園児 | 園児外 | 計 | |
| R4. 4 | 7 | 2 | 9 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 5 | 18 | 17 | 35 | 0 | 0 | 0 | 35 |
| 6 | 4 | 10 | 14 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 6 | 8 | 14 | 1 | 0 | 1 | 15 |
| 10 | 10 | 15 | 25 | 0 | 0 | 0 | 25 |
| 11 | 7 | 12 | 19 | 0 | 0 | 0 | 19 |
| 12 | 12 | 11 | 23 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| R5. 1 | 13 | 17 | 30 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| 2 | 15 | 14 | 29 | 0 | 0 | 0 | 29 |
| 3 | 16 | 12 | 28 | 0 | 0 | 0 | 28 |
| 合計 | 108 | 118 | 226 | 0 | 0 | 1 | 227 |

(令和4年度)

(市外)

休日保育利用状況表

あじさい保育園

| 年.月 | 市外 | | | | | | 合計 |
|-------|----|-----|---|----|-----|---|----|
| | 1日 | | | 半日 | | | |
| | 園児 | 園児外 | 計 | 園児 | 園児外 | 計 | |
| R4. 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| R5. 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

令和4年度研修報告書

あじさい保育園 (R4.4.1-R5.3.31)

| 日付 | 園内研修 | | | 食育研修 | | | 県内 | | | 県外 | | |
|-----|---------------------|-------------|----------------|------|-------------|------------------|-----|-------------|------------------|-----|-------------|------------------|
| | 研修名 | 参加人数 (人) | 支出額(円) (税別) | 研修名 | 参加人数 (人) | 支出額(円) 参加費 旅費 | 研修名 | 参加人数 (人) | 支出額(円) 参加費 旅費 | 研修名 | 参加人数 (人) | 支出額(円) 参加費 旅費 |
| 4月 | | | | | | | | | | | | |
| 5月 | 育児担当制研修 | 保育士全員 | | | | | | | | | | |
| 6月 | | | | | | | | | | | | |
| 7月 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 9月 | 人材育成(事前研修) | 5 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 10月 | 人材育成「地域一環店ネットワーク構築」 | 職員全員 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 11月 | 人材育成(各チーム) | チーム担当 職員 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 12月 | わらべうた | 保育士全員 | | | | | | | | | | |
| | 人材育成(各チーム) | チーム担当 職員 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | 人材育成(各チーム) | チーム担当 職員 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 2月 | 人材育成(各チーム) | チーム担当 職員 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 3月 | 人材育成(各チーム) | チーム担当 職員 | | | | | | | | | | |

* 人材育成研修が10月より5年計画で始まり、チームごとの研修が行われ、それぞれのチームが少ない時間を調整しながら、研修を行っている。

令和4年度 鯉田こども園

- ・ 事業報告案
- ・ 年間行事執行表
- ・ 研修事業報告書
- ・ 一時保育利用状況年間実績表
飯塚市内・市外
- ・ 延長保育利用状況年間実績表
- ・ 年齢別入所児童数

令和4年度 鯉田こども園事業報告

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、保育教育内容や行事の行い方を少しずつ従来通りに行えるように、考え合わせる事も出来てきたように思います。

今年は、5月から9月の間に12回の部分休園の措置をとらざるを得ない状況もありましたが、園の状況をいち早く保護者にメールで一斉配信する事で、園と保護者間とで情報の共有がスムーズに行えました。保護者の方も、園児や園児の家族の体調の変化等を報告してくださったり、家庭保育が可能な際はお子さんを休ませたり、体調の変化に留意される保護者のご協力があり、早目早目の対応ができ職員間でも慌てることなく情報の共有ができ、その場に合った対応・対処ができました。

そういった状況の中でも、一人ひとりを大切にした保育を念頭に置き、育児担当制に取り組んでいき、子どもたちの最善の利益を優先にしながらの保育を再確認しながら進めてきました。

研修においては、今年度もほとんどがリモートでの研修でした。職員一同揃っての職員会議の場を設ける事は難しかったため、研修で学んだ内容等は復命書を作り他の職員にも回覧は行いましたが、しっかり共有できているかが不安な面ですが、リモートだからこそ少しの時間でもとれる職員も参加できる利点もありました。

「ふれあい交流会」や「いきいきサロン」での世代間の交流も、昨年同様再開できるまでには至りませんでした。昨年度同様、短時間からでも始められる機会を待ちに待っている事をお伝えする為にも、節目節目に子どもたちからのハガキを郵送したり、ご挨拶かたがた個別訪問させて頂きました。子どもたちが、散歩に出かけた際には見掛けられると声をかけて頂いたり大切な地域との交流でもありますので、来ていただける方が年々高齢化している事はありますが、この事業が途絶えないようにしていきたいと考えています。

1. 実施事業

- ① 事業年度期間 令和 4年 4月1日 から 令和 5年 3月31日
- ② 入所児童数 令和 4年 4月 1日 103名入所から
令和 5年 3月31日 110名 年間延べ1,284名
- ③ 開所時間 午前7時から午後7時まで実施。
- ④ 保育時間 午前9時から午後5時30分
- ⑤ 保育事業
 - ・延長保育：
午前7時00分から 午前7時30分

午後 6 時 30 分から 午後 7 時 00 分
午後 7 時以降の利用は少ない。(実績は別紙)

- 一時預かり事業：自主事業として行う
(2 月、3 月に実績あり)。
- 世代間交流事業：自主事業として、ふれあい交流会を予定していたが中止となった。
- 地域交流：地域のお寺の花祭り、鯉田交流センター祭り
つどいの広場誕生祭り、いきいきサロンなど
予定されていたが中止となった。
- 休日保育：両親が勤務の為、3 家庭の園児が定期的に利用している。(場所は、あじさい保育園)

2. 職員体制

令和 3 年度末の常勤職員の 4 名、短時間職員 3 名の退職がありましたが、年度始めに常勤職員 5 名の雇用が出来ました。シフトにおいては、遅出を短時間職員 1 名はほぼ毎日変わりなく入って対応する事で、保護者の安心感も得られていました。

短時間職員も、クラス内の仕事のみならず、たてわりクラスの課業を担当・行事の担当や園内の作業にも積極的に責任もって参加しています。

3 歳未満児クラス・3 歳以上児クラスの連携を十分にとり、保育教諭として自分のクラスだけ・自分の働き方の範囲内だけに固執せず、園全体で連携できる体制も安定しました。

3. 保育内容

3 歳以上児クラスの課業Ⅰについては、5 歳児のさくらグループの子どもたちを中心に、5 歳児会議や担任と子どもたちとで話し合い計画を立て、実行に繋げていくことができました。何かに迷った時には、子どもたちと話し合い意見を聞きその中で担任が助言し行っていたので、子どもたちも納得し先の見通しをもって行動する事ができていたので、成功した時には皆で達成感を味わい、出来なかった時にも皆でその気持ちに寄り添うことができる一体感がありました。

課業Ⅱについては、今年度も未満児クラスの職員に限らず、それぞれの職員の協力体制があり、DIY・手話・折紙・裁縫・お花・保健等、様々な楽しい時間をもつことができました。5 歳児は、それぞれの分野での経験をまとめたものを卒園時に飾り持ち帰り、記念にすることもできました。

テーマ活動では、子どもたちとも活発な意見の出しあいが見られ、それぞれの年齢で出来ることで進めまとめながら、未満児クラスの子もたちも巻き込みながら楽しむことが出来ました。

今年も、5 歳児を中心に子どもたちが話し合い、考え、決定し、挑戦するという事の大切さ楽しさを感じ取る事ができ、次の 5 歳児にバトンを渡せたように感じますし、子どもたちも昨年の 5 歳児の姿をよくみていて、自分たちの番が来たとはばかりに意欲的

に取り組む姿がありました。

3歳未満児クラスの育児担当制については、途中入職の保育教諭もいる中、保育を伝えあう事で伝える側の保育の再確認もできていました。共通理解ができつつある半面、疑問点や軌道修正が必要となる事もありましたので、自分で考えて活動できる子どもに育てていくという基本を大切に、職員一人ひとりが自分たちのしている保育教育が、子どもたちの発達のどの部分に関わっているのかという事をしっかり理解しながら子どもたちと関わっていけるよう確認しあい、園内研修も活用しながら職員の資質向上に繋げていきたいと考えます。

4. その他の重要事項

今年度は、一号の利用がありませんでしたので、外部からの入園も元より在園児の家庭の状況もしっかり把握しながら、受け入れを進めていきたいと考えます。

施設や設備の面では、建て替えを見通しながらではありますが、老朽化で修繕を必要とする箇所や物が更に増えてきました。その中、屋根の一部防水工事を行って頂きました。その都度、安全面・衛生面・快適性を重視しながら、本部事務局に報告・相談させて頂きながら修繕か購入かを検討し維持している現状です。

鯨田こども園 令和4年度 年間行事執行表

| | | |
|-----|---------------|-------------------------------------|
| 4月 | 1日(金) | 入園式 |
| | 12日(火) | 懇談会(すみれ組) |
| | 13日(水) | 内科健診 |
| | 14日(木) | 歯科検診 |
| | 15日(金) | 懇談会(たんぽぽ組) |
| | 19日(火) | 懇談会(ちゅうりっぷ組) |
| | 22日(金) | 歓迎遠足 |
| | 26日(火) | 懇談会(つき・ほし) |
| 5月 | 27日(水) | 懇談会(そら・にじ) |
| | 28日(土) | 運動会 |
| 6月 | 7日(火) | 芋苗植え(鯨田) さくらグループ |
| | 8日(水) | 芋苗植え(園舎裏の畑) こすもす・ひまわりグループ |
| | 13日(月) | 巡回相談1回目 |
| 7月 | 5日(火) | プール開き |
| | 7日(木) | 七夕そうめん |
| | 15日(金)~16日(土) | ワクワクドキドキサマーキャンプ (鯨田こども園) さくらグループ |
| 9月 | 28日(水) | 秋祭り |
| 10月 | 14日(金) | 秋の遠足 |
| | 17日(月) | 交通安全教室 |
| | 18日(火) | 歯科検診 |
| | 28日(金) | ハロウィン |
| | 19日(水)~20日(木) | 芋ほり(ひまわり・さくらグループ) |
| 11月 | 10日(木) | 内科健診 |
| | 18日(金) | 焼き芋パーティー |
| | 28日(月) | 味噌作り(さくらグループ) |
| 12月 | 20日(火) | もちつき |
| 1月 | 14日(土) | 生活発表会 |
| 2月 | 3日(金) | 豆まき |
| | 13日(月) | 巡回相談2回目 |
| 3月 | 17日(金) | お別れ遠足 |
| | 25日(土) | 卒園式 |

*避難訓練(防災訓練)・・・毎月

*誕生会・・・毎月

*クッキング保育(食育)・・・しそちぎり・梅漬け見学・味噌作り

*和太鼓教室・・・年間32回

*わらべうた・・・10月・11月・12月(計3回)

新型コロナ感染拡大防止のため中止

- ・世代間交流
- ・読み聞かせ
- ・保護者会総会
- ・スイミングスクール(ひまわり・さくらグループ)
- ・親子バス遠足
- ・幼年消防ふれあい祭り
- ・つどいのお祭り
- ・鯨田公民館祭り

研修一覧表

令和4年度 絵田こども園

| 日時 | 場所 | 主催者 | 講師 | 研修名 | 参加者 |
|----------------------------|----------------------|------------------------------|--|--|---|
| 6月24日 | 絵田こども園 オンライン・リモート | 福岡県保育協会 (給食研修会) | 西南学院大学 天本理恵 | 小児の栄養に関する基礎知識と保育所における食事の提供ガイドライン | 井上み、岡藤、高橋、原口、金光 |
| 7月11日 | オンライン研修 | 福岡県保育協会 (乳児保育研修会) | 筑紫学園大学 原陽一郎 | 乳児保育 (3歳未満児保育) 研修会 | 高橋、井上み |
| 7月19日～23日 | YouTube | 令和4年度保育協会保育士会 | 新保庄三 | 保育園におけるリスクマネジメント (子どもを大切にする保育・子どものじんけんのたいせつさ) | 井上み、玉城、古川、中村 |
| 7月25日 | zoom | 飯塚市 | | 保育施設における虐待対応合同研修会 | 吉富、祝原、藤本、伊藤、青野、梅田 |
| 7月25日 | | 筑豊地方保育協会 | | 筑豊地方保育士会研修会 「感染症対策について」 | 高橋 (延期) |
| 7月28日 | オンライン開催 | 筑豊地方保育協会 | 実践発表 (植木保育園) 記念講演 (認定こども園つるみね保育園園長杉本正和) | 第64回筑豊地方保育事業研究大会 | |
| 8月5日 | | 保育士研修 | | | |
| 8月22日 | 会場 | 福岡県福祉労働部 子育て支援課 | | 令和4年度福岡県認定こども園研修 初任者研修会 | 原口 |
| 8月23日 | 会場 (南近代ビル) | 福岡県福祉労働部 子育て支援課 | | 令和4年度福岡県認定こども園研修 中堅保育教諭等資質向上研修 | 伊藤 |
| 8月25日 | | | | 子どもの虐待防止における研修会について | 西原、森、中村 |
| 8月30日、31日 | 会場 | 福岡県教育庁教育 振興部義務教育課 | | 令和4年度保育技術協議会 | 伊藤 |
| 8月30日 見逃し配信 9月8日～10日 | YouTube 見逃し配信 | 福岡県保育協議会 福岡県保育協議会 保育士会 | | 第30回 (48回) 福岡県保育協議会 保育士研修研大会 | 伊藤、藤本、井上み、高橋 祝原、古川、原口、西原、西田、今泉 松尾、玉城、中村 |

| | | | | | |
|---------------|------------------------|----------|--|--------------------------------|-------------|
| 9月10日 | zoom | くらぎ永田保育園 | | アップデータフォーラム2022横浜 | 高橋、松井、伊藤、青野 |
| 9月13日 | zoom | 福岡県 | | 令和4年度保育所」等職員研修会 (障がい児保育研修会) | 祝原、伊藤 |
| 10月1日 | 法人研修 | | | | |
| 9月28日 | 北九州国際会議場 | 北九州市 | | 福岡県保育所等に勤務する看護師を対象とした医療児ケア研修 | 鶴原 |
| 2022/10/17~21 | zoom | | | 発達障害児の行動理解と支援 | |
| 10月28日 | zoom | | | 人権保育講座 | 青野 |
| 11月2日 | zoom | | | 新人保育士等研修会後期 | 高橋 |
| 11月2日 | 北九州市立男女共同 参画センタームーブ | | | 施設長特別研修会 | 高橋(参加せず) |
| 11月5日 | 福地町地域 交流センター | | | 子どもの権利とまちづくり | 青野 |
| 11月21日 | zoom | | | 職員専門研修 | 西原 |
| 12月9日 | | | | 保育者が対応にとまどう、子どもと保護者への具体的な対応 | 西原 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

令和4年度 一時保育利用状況年間実績表(自主事業) 鯉田こども園
 < 市内 > < 市外 >

| | 実施日数 | 半日 | 1日 | 合計 |
|-----|------|----|----|-----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 10月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 11月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 12月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 1月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 2月 | 0 | 2 | 0 | 1.0 |
| 3月 | 0 | 2 | 0 | 1.0 |
| 合計 | 0 | 4 | 0 | 2.0 |

延べ人数 4名

| | 実施日数 | 半日 | 1日 | 合計 |
|-----|------|----|----|-----|
| 4月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 7月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 9月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 10月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 11月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 12月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 1月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 2月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 3月 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |

延べ人数 0名

< 午前 >

< 午後 >

| 月 \ 時間 | 7:01~7:15 | 7:16~7:30 |
|--------|-----------|-----------|
| 4月 | 4 | 56 |
| 5月 | 5 | 50 |
| 6月 | 2 | 57 |
| 7月 | 2 | 22 |
| 8月 | 1 | 9 |
| 9月 | 0 | 30 |
| 10月 | 1 | 38 |
| 11月 | 4 | 76 |
| 12月 | 20 | 72 |
| 1月 | 8 | 64 |
| 2月 | 4 | 48 |
| 3月 | 11 | 67 |
| 年間合計 | 62 | 589 |

| 月 \ 時間 | 18:31~18:45 | 18:46~19:00 | 19:00~ |
|--------|-------------|-------------|--------|
| 4月 | 30 | 8 | 1 |
| 5月 | 21 | 9 | 1 |
| 6月 | 26 | 12 | 0 |
| 7月 | 22 | 14 | 0 |
| 8月 | 21 | 11 | 3 |
| 9月 | 16 | 4 | 1 |
| 10月 | 20 | 4 | 0 |
| 11月 | 24 | 4 | 1 |
| 12月 | 21 | 10 | 1 |
| 1月 | 13 | 3 | 0 |
| 2月 | 12 | 3 | 0 |
| 3月 | 20 | 6 | 0 |
| 年間合計 | 246 | 88 | 8 |

令和4年度 各月年齢別入所児童数

鯉田こども園

()広域
全人数

| 年令 日付 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | 全園児数 (広域 含む) |
|-----------|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|------------|--------------------|
| 令和4年4月1日 | 3 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 103 | 103 |
| 令和4年5月1日 | 4 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (3) 104 | 104 |
| 令和4年6月1日 | 5 | (1) 14 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 104 | 104 |
| 令和4年7月1日 | 6 | (1) 14 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 105 | 105 |
| 令和4年8月1日 | 7 | (1) 14 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 106 | 106 |
| 令和4年9月1日 | 8 | (1) 14 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 107 | 107 |
| 令和4年10月1日 | 8 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 108 | 108 |
| 令和4年11月1日 | 8 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (4) 108 | 108 |
| 令和4年12月1日 | (1) 9 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (5) 109 | 109 |
| 令和5年1月1日 | (1) 10 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (5) 110 | 110 |
| 令和5年2月1日 | (1) 10 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (5) 110 | 110 |
| 令和5年3月1日 | (1) 10 | (1) 15 | 19 | (1) 24 | (2) 24 | 18 | (5) 110 | 110 |

| | | | | | | | |
|----------|-----|------|-----|------|------|-----|-------|
| 令和4年度 合計 | (4) | (12) | 0 | (12) | (24) | 0 | (51) |
| | 88 | 176 | 228 | 288 | 288 | 216 | 1,284 |

令和4年度 銀杏保育園
銀杏保育園胡桃館（分園）

第2種社会福祉事業銀杏保育園

- 事業報告書（案）
- 年齢別入所児童数
- 延長保育事業年間実績表
- 年間行事執行表
- 研修実施執行表

第2種社会福祉事業

- 一時預かり事業年間実績表

令和4年度 銀杏保育園事業報告書

1. 保育理念

銀杏保育園及び、銀杏保育園胡桃館は、社会福祉法人くすの樹会が掲げる法人理念に基づき、2022年度の保育事業を展開してきた。

令和4年度は、新型コロナの5類への移行を目前に年度末を迎えることとなったが、コロナがなくなったわけではないことから、状況を見ながら、園行事の保護者参加等、徐々に緩和の方向へ移行した。

一方、保育現場では、年度はじめに、外部講師による育児担当制の基本研修を行い、中途採用者や経験の浅い職員の育児担当制保育の確認を行なった。

異年齢保育においては、子どもとの対話を課題にしながら取り組み、年間の活動の骨子を計画的に考えることと同時に、子どもの言葉から活動を柔軟に展開することを同時進行しながら、次年度以降も引き続き保育の深化を目指していく。

前年度に引き続き、要配慮の園児や支援対象の家庭が増えている。

インテグレート（統合すること）やインクルーシヴ（包括する）の考え方を保育者が理解し始め、活動を始めた。保育者の考え方や行動が変容することで、子どもたちの育ちにどのように作用するか、結果としては見えていないが、引き続き課題として取り組むことにより、今後が楽しみでもある。

2. 基本方針

当法人が目指す保育所の役割、使命を果たすための人材育成や定着については、5項目を掲げて取り組んだ。

① 法人職員として働き甲斐を持って持続して働ける環境を構築する。

・保育者自身の多様な働き方を支えるために早番・遅番の職員を配置し、保育補助等の配置を通して、子育て中の職員の短時間正規職員、時間固定職員、短時間職員が働きやすい環境を整えてきた。

しかし、フルシフト対応可能な正規職員の採用には寄与できていない。

多様な働き方を可能にする仕組みは、逆にフルシフト対応の職員に負荷がかかりやすく、フルシフトに対応可能な職員採用方法に工夫が必要である。

② 保育内容の実態の見直しを行い、保育の充実と進化を目指す。

・令和4年度は、銀杏では、職員の配置に関して、管理職が口出しをせず、職員自らが自分が所属するクラスを決定し、クラスリーダーもクラスの中で職員同士の話し合いのもとに決めてもらった。

誰かの決定や、組まされた相手のせいに逃げるのではなく、自己選択、自己決定、自己責任、職員間の対話を意図した。決定までには紆余曲折を要したが、決定後は各々が決めたクラスの保育にしっかり取り組み、協働する姿が見られた。

今後は、各クラスのチームワークをさらに高めると同時に、園全体のチームワークづくり、本園分園を俯瞰したチームワークづくりが課題である。

③ 配慮が必要な家庭及び児童の支援に関する学習に、職員集団全体で取り組む。

・要配慮児の研修については、銀杏、胡桃の各園で研修を受講した職員が、職員会議の中で、研修報告をし、研修内容を共有した。
園を超えた共有はできていないため、今後の課題としたい。

④ 中堅職員の育成を図る。

・現場保育の中核を担う中堅職員の育成が、園のチームワークや保育の質の向上に欠かせないが、育成段階については、正規職員、短時間職員、派遣職員という働き方の違いに関わらず、園内の行事等の各係を割り振り、各係が行事を通して、全体を動かす練習をしてきた。

前年度に引き、チームの構成員同士の連携の必要性に職員自らが気づき工夫をしてきたことが評価できる。係以外の職員の支えが不可欠であり、音頭を取る職員の存在が大きかった。次年度以降、音頭を取る職員の不在が課題である。

⑤ ICTの効果的な活用を進める。

・子どもたちの経験をできる限り無くさないという方針で、保護者参加人数の制限や、保護者不参加での行事を執行し、録画配信やオンラインでのライブ配信、見逃し配信等、保護者向きへのICTの活用が進んだ。

・保育現場でのICT活用については、保育計画作成や保育記録、保護者からの園児出欠連絡、園児出席簿、園児発育発達状況記録に活用した他、月々の園だより、クラス便り、行事開催のお知らせ、行政からのお知らせの配信等に活用が進んだ。

現在、保育を目に見える形で記録する（ドキュメンテーション）に、写真

や動画を利用し、保育の質向上に利用しようとして取り組み始めている。

- ・昨年度に引き続き、動画編集、動画配信等の技術研修を行ない、生活発表会のライブ配信並びに、期間を限定した YouTube、Google Drive での配信を行なった。

- ・他法人と連携した実践報告等の保育研修に ICT の活用を進めている。

2022 年は、1 歳児クラスにて定点カメラで保育動画を撮影し、動画をもとに振り返りを行った結果を保育実践報告として発表した。

- ・zoom については、年度後半からの職員プロジェクトチームのチーム会議に職員主導で 40 分の無料版を活用している。

- ・次年度以降、銀杏、胡桃をオンラインで結んだ園内研修により、各人が受講した研修の本園・分園間の共有化の実現に向かいたい。

また、園内の Wi-Fi 環境を整えることで、組織内の連絡ツール及びデータの共有、会議ツールに teams の活用。スマホを利用した、出退勤記録および、勤務表作成と配信、各個人からの休暇等の申請などに勤怠管理ツールの利用開始に向けて職員の登録を進めており、現在手計算している勤怠管理の省力化を進めていく。

保育では、インスタグラムで、保育の様子等を発信をしているが、やったことの報告の羅列になりがちであるため、保育専門職として、一歩踏み込んだ視点からの発信にブラッシュアップできるように取り組む。

インスタグラムの QR コードを、ホームページに載せているが、フォロアーが保護者等関係者で、フォロアー数が伸びていないため、園の認知度を高めるための工夫をし、これを職員採用にも役立てようと考えている。

3. 2022 年度重点項目

①法人理念の共通理解、保育理念を共有するために、職員参加でのハンドブック作成に取り組む。

- ・入園式後に、法人理念を具現化するための保育方法について、3 歳未満児育児担当制保育並びに、異年齢保育に関する基礎としての理論研修を保育理念に触れながら行った。

- ・ハンドブック作成に関しては、組織強化 5 年計画の一環の成果物として位置付けたため、法人中期計画に移動させた。

②本園、分園の職員の協力関係を保ち、保育の方向性を一致させる。

そのための、各種マニュアルの見直し、改訂を進めると同時に、土曜日共同保

育、行事、保育の相互協力等を通じて、施設職員間の顔の見える関係を進める。

・土曜共同保育については、重要事項説明において、保護者の同意を得て、コロナの感染拡大状況を勘案しながら実施した。

また、職員配置の状況に応じて、両園の副主任が連携をとりながら、相互に協力をし合うよう取り組み、協力し合うことに対する抵抗がなくなっている。

10月には、あじさい保育園・鯉田こども園への実地研修へ職員派遣を行い、2歳児クラス及び異年齢クラスの保育研修を実施した。

派遣された職員2名は、各2週間の実地研修を終え、保育環境や、子どもへのアプローチの仕方、手厚いとは言えない配置基準で保育されている地方の子どもたちの育ちと、横浜の配置基準で手厚く保育したはずの自園の子どもの姿の違いに、「保育士の数が保育の質ではない」ことを目の当たりにしたことで、保育者自身に変化がみられた。

③配慮の必要な児童に関する学習に、職員全体で取り組む。

・令和4年度は、加配対象となる要配慮児の入園が多く、また支援の必要性が高い家庭が存在した。

要配慮児に関しては、現場が感じる気になる児と、要配慮児の区別がつけづらく、「気になる子」として列挙されるが、我儘や経験不足、養育環境によるものとの違いの判別に保育現場では難しさを感じている。

療育センターからの巡回相談、療育研修等を受講してはいるが、一部職員の知識レベルに留まり、全体への知識共有や、現場での知識活用にまでは至っていない。

次年度課題として、保育者自身が、共有すること、共有できる環境を自ら積極的に作ることを意識化していくと同時に、各人で学習できるように研修案内等をオープンにしていく。一部の職員に情報が偏らないように配慮していく。

④次世代リーダーの育成研修を行う。

・年度後半から、外部コンサルを入れての職員によるプロジェクト活動が始動している。各プロジェクトチームでの活動を通して、誰もが次世代リーダーとなるチャンスを与えられた。

⑤ ICT活用について、オンライン研修、行事の事後配信を経て、ライブ配信、見逃し配信に取り組んできたが、編集作業等、一部の職員に負荷がかかる

状態であるため、研修を通して、作業できる人員を増やす。

- ・ 銀杏保育園生活発表会時に、外部講師にオンライン同時配信を依頼し、同時配信時の技術習得、生活発表会後午後から、収録した動画の編集と、同時配信と配信動画の編集及び後日配信方法の研修を行った。

胡桃館では、機材借用のみで、同時配信、動画編集、編集後の動画の後日配信については、外部者の助けなく職員が行った。

技術習得した職員から、如何に職員全体へ技術を広げていくことが、引き続き今後も課題である。

⑥ 職員確保については、資格試験受験要件を満たし、取得支援する為に、無資格者の就職受け入れを行い、保育者養成に取り組む。

- ・ 保育補助 4 名のうち、一名は家庭支援員の資格を取得し、早番と遅番対応が可能になり、さらに勤務しながら通学できる養成校への入学を決めている。

⑦ 絵本等保育図書の整備及び管理システムを整え、年長児への貸し出しを開始する。

- ・ 10月から年長児への絵本の貸し出しを始めた。年中児へ貸し出しを広げるために絵本の扱い等の指導を開始しているが、未だ徹底するところまでには至っていない。本を扱う時の約束事が身につくまでは、意識的に扱いかたを思い出せるような声かけ方、指導を工夫することを課題とする。

4. 中期目標（2018年4月～2023年3月）

（1）園内研修を通し、保育内容の充実を図る。

- ・ 2022年度は、年度初めに、外部講師による基礎研修を行った。

オンラインによる一般的な回答より、現場に即応したものになり、現場の振り返りの機会となった。

年度途中に、他法人と連携した研修で、実践発表をする為に、定点カメラによる映像をもとに、現在の保育を振り返ることを行なった。実践発表を機会に、クラスの保育者同士が話し合う場面が多く見られた。

発表後も継続した経過観察、振り返りを期待したが、継続できなかった。

実践報告をするためのその場限りのものではなく、さらに先に進むため、保

育の深化のために、どうすれば継続した研究が可能になるのか、どうすれば負担感を少なくしていけるかが課題である。

保育を主観ではなく、客観的に振り返ることができる環境を整えることが課題である。

(2) 地域との交流を意図的に増やししながら、銀杏保育園や胡桃館でできる地域貢献を探る。胡桃館では地域解放スペースを活用する。

・新型コロナウィルスへの対応が変化し始め、人の交流が少しずつできるようになってきた。胡桃館では、これまで地域の清掃活動への参加を制限してきたが、次年度以降参加を再開する。地域開放スペースについては

(3) 年間休日を10日間増やし、実質上の処遇改善を行い、職員の自己研鑽がしやすい環境を整える。

→公休数を年間105日から115日へまた、法改正により、年次有給休暇が10日以上付与される職員については、有給休暇を年間5日以上計画付与し、実質120日以上の休日数を達成している。

→働き方については、子どもと接触しない時間を、各人の日課に落とし込み、効率的な働き方を探り、持ち帰り「0」に取り組んできた。

具体的には、保育計画、保育記録、その他の保育事務を持ち帰らず、園内で処理することを義務付け、各クラスのチーム内での職員各人の日課に、事務処理のための時間をとるようにした。

十分な時間が取れているわけではないが、限られた時間内に、各人が業務を終えるために、効率化に意識を向けることができるようになっている。

2022年度は少し前進したかに思えるが、保育者の人数によって、物理的に時間が確保できない、あるいは現場から離れない、離れられない状況もある。

保育事務業務の効率化は、各人の事務スキルの能力差によっても変化するので、事務量に対しかかる標準的時間を割り出し、事務処理能力の平準化を目指し、かつ保育者数の確保と並列で進めることが課題である。

・園内研修の機会確保については、多様な働き方により、園全体で時間を取ることが難しいため、午睡中の時間を利用して、保育や、保育に付随する安全管理や、職員間の連携に関する研修等をコンパクトにして行なった。

また、出席園児の少ない土曜日、あるいは行事後の午後の時間に研修を計画し、集中して学べる環境を確保することを実行した。次期中期目標に向けては、理解度を深めるためのアウトプットと、共有することによる保育技術の基礎固めを課題とする。

(4) 他機関、他法人との連携を行いながら、地域交流の充実を図る。

・2022年度は、中期目標最終年であるが、新型コロナの感染症対策のために、他機関との交流活動が制限されて進むことができなかった。

特に、毎年恒例であった川上地区主任児童員を中心とした子育て支援事業との交流が3年連続で見送りとなったが、新型コロナの5類への変更状況をみながら、機会があれば再開したいと考えている。

・実際の交流は行えていないが、老人施設を支援するボランティア団体へ、毎月園児が作成したお年寄り向け季節のハガキを継続して送っており、間接的にお年寄りとの交流に参加している。

また、地区社協が主催する、独居のお年寄りの食事会の再会に合わせて、その食事会時や、配られるお弁当に、子どもたちが作成したメッセージを添える活動を再開したい。

5. 長期目標

①管理職の育成を図り、施設経営の安定を図る。

・法人の次世代を担う職員育成を目途に、副主任トライアル者から施設長までの管理職候補者及び管理職のトップリーダー研修を行った。

研修結果の講師の感想としては、気になるところが一部あるが概ね、良好とのことであるが、一般職員がどのように感じているかを調査することを勧められた。以前の研修資料に利用できるものがあるため、全施設の施設長以下の管理層について、上司、同僚、部下からの調査を実施し、その結果を活用しながら、5～10年後の次世代リーダーの育成に役立てたい。

②银杏保育園については、建設後10年を目処に建物本体の点検を行い、必要に応じて修繕を行う。

2021年度から引き続き、建物躯体及び設備の点検を依頼し、修繕を要する箇所について洗い出しを行い速やかに理事会にかける。

・2021年中に、緊急的に修繕が必要な箇所を洗い出し、修繕費についての補正予算を計上、理事会承認を受け修繕を行った。

補正予算検討段階で、園庭の屋外遊具や、テラスのパーゴラについては、木部の腐蝕や白蟻の食害が見られたため、素材を検討したが、子どもに安全で使いやすいものか否か、修繕のしやすさ、構造上の問題、金額面、材料の入手時期に目処が立つか等、多方面での検討を行い今回は材質の交換は見送った。

ただし、避難通路となる外部階段については、手すりのグラつきや、通路壁の材質の雨水浸水等による劣化と、園児による外部からの衝撃による損傷があ

ったため、手すりについては木材からアルミ製へ交換、壁材についても当初使用されたものから材質変更をした。

園庭の大型遊具については、木製のため、修繕の頻度が上がると予想される。使えるものは、丁寧に長く使いながら、10年を超えた使用頻度の高いものについては、入手の困難性も含めた入替時期を考慮に入れながら、予算化し、修繕にかかる費用や入替時の資金の準備も、計画的に行っていくことが必要と思われる。

園庭全体としては、保育の深化に伴った園庭改造も念頭に置いている。

法人全体の予算管理を担う本部事務局と連携し、中・長期の計画を作成しながら、施設及び設備の管理を行なっていく。

6. 実施事業

第2種社会福祉事業

- ・ 銀杏保育園保育事業
- ・ 銀杏保育園胡桃館（銀杏保育園分園）保育事業

第2種社会福祉事業

- ・ 銀杏保育園一時預かり事業
- ・ 銀杏保育園胡桃館（銀杏保育園分園）一時預かり事業

7. 事業年度

2022年4月1日から 2023年3月31日

8. 開所時間（銀杏保育園・銀杏保育園胡桃館）

午前7時から 午後8時まで（13時間開所）

9. 定員

銀杏保育園 （60名）

銀杏保育園胡桃館（44名）

※別紙資料 各月年齢別入所児童数 参照

10. 職員体制 (2023年3月1日現在)

施設長 常勤 1名

| | | (銀杏) | (胡桃館) | 数字は人数 |
|-------|-----|------|----------------|-------|
| 副主任 | 常勤 | 1 | 1 | |
| 保育士 | 常勤 | 8 | 4 | |
| | 短時間 | 8 | 9 | |
| | 派遣 | 4 | 2 | |
| 保育補助 | 常勤 | 1 | 0 | |
| | 短時間 | 3 | 0 | |
| 看護師 | 短時間 | 1 | 0 | |
| 管理栄養士 | 常勤 | 1 | 0 | |
| 栄養士 | 常勤 | 2 | 1 | |
| | 短時間 | 1 | 0 | |
| 調理員 | 常勤 | 0 | 1 | |
| | 短時間 | 2 | 1 | |
| <hr/> | | | | |
| 職員総数 | 常勤 | 13 | 7 | 小計 20 |
| | 短時間 | 15 | 10 | 25 |
| | 派遣 | 4 | 2 | 6 |
| <hr/> | | | | |
| | | | 合計 51 (+施設長 1) | |

嘱託医 銀杏保育園 和田医院院長 和田 隆
 銀杏保育園胡桃館 伊東医院院長 伊東 均

嘱託歯科医 銀杏/胡桃 さち歯科医院院長 佐知 崇司

2022年度 入・退職者 については 別紙資料
 「R4(2022)年度職員入退職一覧」参照

以上

R4(2022)年度職員入退職一覧

社会福祉法人くすの樹会銀杏保育園・胡桃館

| | 1日付在職者数 | | | | 当該月入退職者数 | | | | | |
|-----|----------------|----------------|------------|------------|----------|---------|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | 保育 | | 調理 | | 看護師 | 保育補助 | 入職者数 | | 退職者数 | |
| | 銀杏 | 胡桃 | 銀杏 | 胡桃 | 銀杏 | 銀杏 | 胡桃 | 銀杏 | 胡桃 | |
| 4月 | 21 常8/短8/派5 | 14 常5/短6/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 6 常2(保)/短1(補)/ 派3(保) | 1 短1(保) | 0 | 0 |
| 5月 | 21 常8/短8/派5 | 14 常5/短6/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 1 短1(保) | 0 | 1 派1(保) |
| 6月 | 21 常8/短8/派5 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 2 短1(保)/派 1(保) | 2 | 0 |
| 7月 | 19 常8/短7/派4 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 19 常8/短7/派4 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 19 常8/短7/派4 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10月 | 19 常8/短7/派4 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 1 短1(保) | 0 | 0 | 0 |
| 11月 | 20 常8/短8/派4 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 20 常8/短8/派4 | 16 常5/短8/派3 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1月 | 20 常8/短8/派4 | 16 常5/短9/派2 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 20 常8/短8/派4 | 16 常5/短9/派2 | 5 常2/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 0 | 0 | 1 常1(保) | 0 |
| 3月 | 19 常9/短8/派4 | 16 常5/短9/派2 | 6 常3/短3 | 3 常2/短1 | 1 短1 | 4 短4 | 2 常1(調)/短 1(保) | 0 | 2 常1(保)/短 1(看) | 2 常1(調)/短 1(保) |

令和4(2022)年度 銀杏保育園・胡桃館行事執行表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園・胡桃館

| 日付 | 行事名 | 参加対象 | 行事内容 |
|---------|--|----------------------------|------------------------------------|
| 4月 | | | |
| 1日 | 入園式(銀杏・胡桃) 保護者懇談会(銀杏) 保護者懇談会(胡桃) | 新入園児・保護者、在園児 保護者 保護者 | 入園式及び担任紹介 クラス懇談会 クラス懇談会 |
| 2021.22 | | | |
| 5月 | | | |
| 18日 | 親子遠足(銀杏・胡桃) さつまいも植え (銀杏・胡桃) | 在園児、保護者、祖父母 年長児 | ※コロナのため実施せず さつまいも、苜蓿でつくり農園さんと交流 |
| 25日 | 梅もぎ | 年長児、他園年長児、地域 | 梅もぎ、他園園児との交流 |
| 30日 | 内科健診(銀杏) | 在園児 | 囃託医による検診 |
| 6月 | | | |
| 2日 | 歯科検診(銀杏・胡桃) | 在園児 | 囃託歯科医による検診 |
| 11日 | 運動会 | 在園児、保護者 | |
| 23日 | 内科健診(胡桃) | 在園児 | 囃託医による検診 |
| 7月 | | | |
| 5日 | 流しそつめん(銀杏) | 在園児 | 夏の間を感じる季節行事 |
| 6日 | 流しそつめん(胡桃) | 在園児 | 夏の間を感じる季節行事 |
| 7日 | 七夕会 | 在園児 | |
| 15.16日 | お泊り保育(銀杏・胡桃) | 年長児 | 雨天の為、遊びの広場(蒲場) フッキング |
| 8月 | | | |
| 19日 | 尿検査(銀杏) | 在園児(2歳児～年長児) | 尿検査 |
| 22日 | 尿検査(胡桃) | 在園児(2歳児～年長児) | 尿検査 |
| 27日 | 夏祭り(銀杏) | 在園児 | 在園児によるお店屋さんごっこ ※コロナの為、規模縮小で開催 |
| 9月 | | | |
| 1日 | 大規模災害引き取り訓練 | 在園児、保護者 | 大規模災害を想定した引取り訓練 |
| 2日 | 大規模災害避難訓練 | 在園児 | 大規模災害を想定した避難訓練 |
| 3日 | 夏祭り(胡桃) | 在園児、保護者 | 在園児によるお店屋さんごっこ ※コロナの為、規模縮小で開催 |

| 日付 | 行事名 | 参加者 | 行事内容 |
|--------|--|------------|-----------------------------|
| 10月 | | | |
| 12日 | 芋ほり(銀杏・胡桃) | 幼児クラス | さつまいも収穫 ※吉田でつくり農園さん畑 |
| 20.21日 | 山盛り(銀杏) | 年長児 | 金時山登山(1泊2日) |
| 27.28日 | 山盛り(銀杏) | 年長児 | 金時山登山(1泊2日) |
| 11月 | | | |
| 8日 | 秋の味覚祭り(猿蓐、味覚祭) | 在園児 | 秋の魚、キノコなど秋の味覚を楽しむ |
| 15日 | 七五三(銀杏・胡桃) | 在園児 | 七五三製作、お詣り |
| 26日 | 作品展(銀杏) | 在園児、保護者 | 各クラス作品展 |
| 12月 | | | |
| 1日 | 内科健診(胡桃) | 在園児 | 囃託医による検診 |
| 4日 | 作品展(胡桃) | 在園児、保護者 | 各クラス作品展 |
| 14日 | もちつき(銀杏) | 在園児 | ※コロナ対策のため、ミニ餅つき大会として園内のみで実施 |
| 23日 | クリスマス会(銀杏・胡桃) | 在園児 | 文化行事を楽しみ、交流など |
| 26日 | もちつき(胡桃) | 在園児 | ※コロナ対策のため、ミニ餅つき大会として園内のみで実施 |
| 1月 | | | |
| 12日 | 歯科検診 ライオンキング観劇 | 在園児 年長児 | 囃託医による検診 ライオンキング観劇 |
| 2月 | | | |
| 4日 | 生活発表会(銀杏) | 在園児・保護者 | オンライン配信方式、人数制限による現地観劇 |
| 18日 | 生活発表会(銀杏) | 在園児・保護者 | オンライン配信方式にて開催 |
| 18日 | 生活発表会(銀杏) | 在園児・保護者 | オンライン配信方式にて開催 |
| 3月 | | | |
| 10日 | 金井公園チャレンジ | 年長児 | 観察遠足 |
| 18日 | 卒園式(胡桃) | 年長児・保護者 | 卒園式、謝辞会 |
| 25日 | 卒園式(銀杏) | 年長児・保護者 | 卒園式、謝辞会 |
| 4月 | | | |
| 1日 | 避難消火訓練・・・毎月 水害を想定した訓練(胡桃のみ)・・・毎月 地震を想定した訓練・・・年4回 不審者を想定した訓練・・・年2回 | | ・ハイキング給食・・・年6回実施 |

令和4(2022)年度 銀杏保育園 職員研修実績表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園・胡桃館

| 園内研修 | | | | 食育研修 | | | | 保育研修 | | | |
|--------|----------------|-----|-----------------|------|----------------|-----|------------------------|------|-----|-----|------|
| 日付 | 研修名 | 参加数 | 研修内容 | 日付 | 研修名 | 参加数 | 研修内容 | 日付 | 研修名 | 参加数 | 研修内容 |
| 4月 | | | | | | | | | | | |
| 12日 | 首児担当制、異年齢保育 | 15名 | | | | | | | | | |
| 7日 | リスクマネジメント | 11名 | 安全、危機管理・マニュアル | | | | | | | | |
| 5月 | | | | 5月 | | | | | | | |
| 14日 | 就業規則について | 20名 | | 27日 | あそび研 わらべうた | 2名 | | | | | |
| 14日 | レゴ研修 | 24名 | レゴを用いた共感研修 | 31日 | 絵本研修 | 1名 | 絵本の読み聞かせ、絵本紹介 | | | | |
| 6月 | | | | 6月 | | | | | | | |
| 22日 | 水遊びについて | 9名 | 事故予防と感染予防について | 23日 | 乳児保育特別講座 | 3名 | | | | | |
| 7月 | | | | 7月 | | | | | | | |
| | | | | | アレルギ-対応研修 | 2名 | 調理業務におけるアレルギ-対応 | | | | |
| 8月 | | | | 8月 | | | | | | | |
| 25日 | リスクマネジメント研修 | 11名 | 事故の振り返りと対策について | | 食物アレルギー講習会 | 4名 | アレルギー疾患について(期間配信) | | | | |
| 9月 | | | | 9月 | | | | | | | |
| 22日 | 事故防止・安全管理について | 8名 | 身近な事故と安全管理 | | 給食研修会 | 4名 | 乳幼児期の食事形態と共通理解 | | | | |
| 10月 | | | | 10月 | | | | | | | |
| 8日 | 地域一番店ガイダンス | 20名 | キックオフミーティング | | 衛生管理講習会 | 2名 | 食品衛生責任者講習(期間配信) | | | | |
| 24日 | 感染症予防と対策 | 13名 | これからの感染症と予防について | | | | | | | | |
| 11月 | | | | 11月 | | | | | | | |
| 1日 | 感染症対策(嘔吐処理) | 7名 | 感染症予防について | 1日 | 食物アレルギー緊急時対応研修 | 2名 | 緊急時における対応について | | | | |
| 1日 | リスクマネジメント研修 | 7名 | ホームページチャレンジ | | | | | | | | |
| 25日 | 保育ウェブ研修 | 7名 | 保育ウェブを笑顔に作成 | | | | | | | | |
| 12月 | | | | 12月 | | | | | | | |
| 28日 | フォトカンファレンス | 7名 | フォトカンファレンス実践 | | 食物アレルギー講習会 | 4名 | アレルギーにおける施設内での対応(期間配信) | | | | |
| 1月 | | | | 1月 | | | | | | | |
| 21日 | リスクマネジメント | 16名 | 安全、危機管理・マニュアル | 19日 | 乳児食調理実習研修 | 1名 | 適切な離乳食について(実習) | | | | |
| 2月 | | | | 2月 | | | | | | | |
| 22日 | 食物アレルギーについて | | | | | | | | | | |
| | 心肺蘇生法について | | | 22日 | 給食施設実習管理研修会 | 2名 | 子どもの食に関する研修会 | | | | |
| 3月 | | | | 3月 | | | | | | | |
| 11日 | リスク安全管理について(銀) | 12名 | 動画による安全管理研修 | | | | | | | | |
| 16日 | 上手に話せるための研修(銀) | 11名 | 動画による研修 | | | | | | | | |
| 16-17日 | リスク安全管理について(胡) | 12名 | 動画による安全管理研修 | | | | | | | | |

R4年度キリアアップ研修

- ・乳児保育分野 1名
- ・マネジメント分野 3名
- ・保健衛生・安全対策分野 2名
- ・食育・アレルギー対応分野 1名

- ・保護者支援・子育て分野 1名
- ・障害児保育分野 4名
- ・保育実践分野 1名

令和4(2022)年度

一時保育利用状況表

社会福祉法人くすの樹会
銀杏保育園
銀杏保育園胡桃館

延べ利用児童数

| | 銀杏保育園 | 銀杏保育園胡桃館 | 小計 |
|-----|-------|----------|-----|
| 4月 | 15 | 0 | 15 |
| 5月 | 7 | 0 | 7 |
| 6月 | 19 | 9 | 28 |
| 7月 | 19 | 3 | 22 |
| 8月 | 29 | 0 | 29 |
| 9月 | 10 | 0 | 10 |
| 10月 | 14 | 2 | 16 |
| 11月 | 14 | 0 | 14 |
| 12月 | 21 | 5 | 26 |
| 1月 | 18 | 2 | 20 |
| 2月 | 18 | 0 | 18 |
| 3月 | 32 | 3 | 35 |
| 合計 | 216 | 24 | 240 |

令和4(2022)年度延長保育利用状況表

银杏保育園
银杏保育園胡桃館

| 標準設定 短時間保育 利用時間 | | 朝延長① 朝延長① 7:00~7:29 | 朝延長② 朝延長② 7:30~7:59 | 朝延長③ 朝延長③ 8:00~8:29 | 夕延長① 夕延長① 16:30~16:59 | 夕延長② 夕延長② 17:00~17:29 | 夕延長③ 夕延長③ 17:30~17:59 | 夕延長④ 夕延長④ 18:00~18:29 | 夕延長⑤ 夕延長⑤ 18:30~18:59 | 夕延長⑥ 夕延長⑥ 19:00~19:29 | 夕延長⑦ 夕延長⑦ 19:30~20:00 | 各園 合計 | 合計 |
|-----------------------|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------|------|
| 4月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 67 | 38 | 7 | 114 | 213 |
| | 胡 | 48 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 13 | 1 | 99 | |
| 5月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 89 | 35 | 1 | 128 | 226 |
| | 胡 | 35 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 | 17 | 0 | 98 | |
| 6月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 23 | 20 | 19 | 3 | 97 | 43 | 3 | 208 | 322 |
| | 胡 | 36 | 0 | 16 | 3 | 0 | 0 | 0 | 40 | 19 | 0 | 114 | |
| 7月 | 銀 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 90 | 55 | 5 | 152 | 258 |
| | 胡 | 35 | 0 | 19 | 1 | 0 | 0 | 0 | 37 | 14 | 0 | 106 | |
| 8月 | 銀 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 73 | 25 | 10 | 111 | 241 |
| | 胡 | 42 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 21 | 0 | 130 | |
| 9月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 91 | 46 | 1 | 141 | 251 |
| | 胡 | 36 | 0 | 15 | 3 | 0 | 0 | 0 | 43 | 13 | 0 | 110 | |
| 10月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 86 | 41 | 3 | 131 | 270 |
| | 胡 | 45 | 0 | 20 | 5 | 2 | 0 | 0 | 43 | 23 | 1 | 139 | |
| 11月 | 銀 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 79 | 39 | 6 | 126 | 247 |
| | 胡 | 33 | 0 | 18 | 2 | 2 | 1 | 1 | 47 | 16 | 1 | 121 | |
| 12月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 76 | 44 | 4 | 124 | 228 |
| | 胡 | 37 | 0 | 13 | 1 | 0 | 0 | 0 | 39 | 13 | 1 | 104 | |
| 1月 | 銀 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 79 | 28 | 0 | 110 | 228 |
| | 胡 | 28 | 1 | 19 | 1 | 0 | 0 | 0 | 47 | 22 | 0 | 118 | |
| 2月 | 銀 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70 | 32 | 5 | 109 | 231 |
| | 胡 | 37 | 0 | 16 | 5 | 0 | 0 | 0 | 44 | 19 | 1 | 122 | |
| 3月 | 銀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 98 | 33 | 6 | 137 | 270 |
| | 胡 | 53 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 22 | 3 | 133 | |
| 計 | 銀 | 10 | 0 | 2 | 32 | 20 | 19 | 3 | 995 | 459 | 51 | 1591 | 2985 |
| | 胡 | 465 | 1 | 176 | 21 | 4 | 1 | 1 | 505 | 212 | 8 | 1394 | |
| 両園 合計 | | 475 | 1 | 178 | 53 | 24 | 20 | 4 | 1500 | 671 | 59 | 2985 | |

令和4（2022）年度 各月年齢別入所児童数

社会福祉法人くすの樹会

銀杏保育園・胡桃館

| | | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 各園 合計 | 全園児数 (私的契約 含む) |
|----------|--------|--------|--------|---------|----------|----------|----------|----------|----------------------|
| | | 4月 | 銀 胡 | 2 / | 8 7 | 8 6 | 12 10 | 12 9 | |
| 5月 | 銀 胡 | 2 / | 8 7 | 9 6 | 12 10 | 12 10 | 12 10 | 55 43 | 98 |
| 6月 | 銀 胡 | 4 / | 8 7 | 10 6 | 12 10 | 12 10 | 11 10 | 57 43 | 100 |
| 7月 | 銀 胡 | 5 / | 8 7 | 10 5 | 12 10 | 12 10 | 11 10 | 58 42 | 100 |
| 8月 | 銀 胡 | 6 / | 8 7 | 10 6 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 59 42 | 101 |
| 9月 | 銀 胡 | 7 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 60 43 | 103 |
| 10月 | 銀 胡 | 8 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 61 43 | 104 |
| 11月 | 銀 胡 | 8 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 61 43 | 104 |
| 12月 | 銀 胡 | 8 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 61 43 | 104 |
| 1月 | 銀 胡 | 8 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 61 43 | 104 |
| 2月 | 銀 胡 | 8 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 61 43 | 104 |
| 3月 | 銀 胡 | 8 / | 8 7 | 10 7 | 12 10 | 12 9 | 11 10 | 61 43 | 104 |
| 計 | 銀 | 74 | 96 | 117 | 144 | 144 | 134 | 709 | 1222 |
| | 胡 | 0 | 84 | 78 | 120 | 111 | 120 | 513 | |
| 両園 合計 | | 74 | 180 | 195 | 264 | 255 | 254 | 1222 | |